



めざそう! 食肉の安全・安心!!

検査所だより

2020.12(vol.71)

宮城県食肉衛生検査所

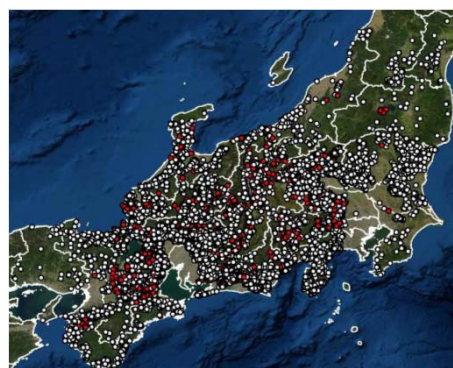
開かれた食肉衛生検査所へ! 私たちは食肉衛生検査情報の還元を推進し、開かれた食肉衛生検査所を目指しています。生産者の方も食肉関連事業者の方も気軽に当所をご利用ください。

豚熱ワクチン接種が始まりました

平成30年9月、岐阜県の養豚農場で日本では26年ぶりに豚熱(CSF, 旧称:豚コレラ)が発生し、岐阜県、愛知県、長野県、三重県、福井県、埼玉県、山梨県、沖縄県、群馬県の9県で計59事例の発生が確認されています。これに伴い、農場または野生イノシシでの豚熱感染が確認された県とその近隣県は、農林水産省により豚熱ワクチン接種推奨地域に設定されることとなりました。

令和2年9月19日の福島県会津若松市での豚熱ウイルス感染イノシシの発見を受けて、宮城県でも令和2年10月13日から県内の全飼育豚を対象に豚熱ワクチン接種が開始され、令和3年3月までに全農場の接種が完了する予定です。

現在は18都府県において野生イノシシから豚熱ウイルスの陽性事例が確認されています。(右図)



豚熱感染野生イノシシ発生地点(出典:農林水産省HP)
○PCR陰性 ●PCR陽性

交差汚染防止対策を実施しています

豚熱に感染した豚は唾液、涙、糞尿中にウイルスを排泄し、感染豚、あるいは感染豚による汚染物品等との接触などによって感染が拡大します。

宮城県食肉流通センターでは交差汚染を防止するため、出荷豚をワクチン接種農場と非接種農場で区別し、搬入時間帯の区分、搬入ルート of 整備、車両消毒の徹底、敷料やと畜作業用具の衛生管理の徹底など、細心の注意を払っています。

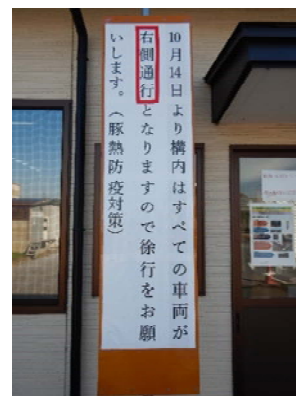
豚肉は全てと畜検査員によって検査されているため、豚熱に感染した豚肉が市場に出回ることはありません。また、豚熱は豚とイノシシのみ発症する病気であり、仮に豚熱に感染した豚の肉や内臓を食べても、人体に影響はありません。なお、アフリカ豚熱(ASF, 旧称:アフリカ豚コレラ)とは全く別の病気です。



関係車両の消毒の徹底



場内防疫対策および立入りの管理徹底



搬入による交差汚染の防止

と畜検査疾病コラム

「豚熱(CSF)」

豚熱は家畜伝染病予防法において『特定家畜伝染病』として指定される豚・イノシシの熱性伝染病で、フラビウイルス科CSFウイルス感染によって起こる高病原性の伝染病です。強い感染力と高い致死率が特徴で様々な臨床症状を示し、主に飼養豚群(特に子豚)での短期間の急激な死亡率の上昇から豚熱の感染が疑われます。

と畜場において豚熱が疑われる症状としては、生体では発熱・元気消失・耳翼のチアノーゼ・下痢・眼球の充血・四肢麻痺などが、解体後では膀胱や腎臓の点状出血・脾臓の出血性梗塞・扁桃の壊死などが挙げられます。検査中にこれらの症状が確認された場合はと畜作業を中断し、家畜保健衛生所と協力してより詳しい検査と防疫措置を行います。

(写真出典:農林水産省HP)



耳翼のチアノーゼ



眼球の充血



脾臓の出血性梗塞

「アフリカ豚熱(ASF)」

アフリカ豚熱は豚熱と同じく家畜伝染病予防法において『特定家畜伝染病』として指定される豚・イノシシの伝染病で、豚・イノシシの他にダニや蚊(ヌカカ)が媒介して感染します。現在は中国・ロシア・アフリカなどを中心に発生しており、日本では発生がありません。豚熱に似た臨床症状と、豚群の急激な死亡率の上昇を示しますが、アスファウイルス科ASFウイルスの感染によって発症する別の疾病です。

アフリカ豚熱の特徴として、豚熱でも認められる下痢や発熱、元気消失の他、止血機能低下により皮下出血による紫斑や天然孔からの出血が見られ、内臓では脾臓の腫大や腎臓の出血斑などが認められます。

(写真出典:農研機構HP)



下痢



天然孔からの出血



脾臓の腫大

・当検査所では申請者に対し、と畜検査結果を閲覧または文書により提供しています。
申請書は当所ホームページ「提供可能なデータと各種申請様式」表中ファイルからダウンロード可能ですのでご利用ください。

宮城県食肉衛生検査所

〒987-0311

宮城県登米市米山町字桜岡今泉314

電話 : 0220-55-3752

ファックス : 0220-55-4105

電子メール : shmeat@pref.miyagi.lg.jp

